

金沢市立新神田小学校

〔はじめに〕

本校は、昭和56年（1981年）に開校した。全校児童数は326名、教職員は23名である。

金沢市の西南部に位置し、校区は北側を流れる犀川と南側を流れる伏見川に囲まれており、東側には四季折々の医王の山並みを望むことができる。学校周辺には用水が流れ、田畑も見られるが、団地や商店街などが広がっている。犀川には四季を通じて美しい自然があり、地域の人々の憩いの場となっている。児童にとって、自然に親しむとともに様々な学習活動に取り組める環境となっている。

心豊かな児童の育成をめざし、地域の人々とかかわり、体験学習を通して環境・福祉・伝統文化を主要テーマとし、生活科や総合的な学習の時間に取り組むと同時に、教科学習においても「自分の考えをもち表出する子」をテーマに課題解決学習を行って持続発展教育の実践に取り組んでいる。

魅了発見！ わたしたちの「新神田」「犀川」そして、「金沢」

1 ユネスコスクールとしての取組

3年生 ぼくたち、犀川探検隊！ ～ 四季の変化を感じながら ～

地域に流れる犀川で、探検したり、植物調べをしたり、生き物フィールドビンゴをしたり、講師をお招きして水生生物調査をしたりして、犀川の水がきれいであることや水生昆虫のことを知ることができた。犀川植物図鑑にまとめ、掲示し、皆に知らせることができた。また、自分たちの地域のよさを理解し、これからも地域のよさを守っていこうとする心情をもつことができた。



4年生 伝統工芸を学ぶ

金沢にはどのような伝統工芸品が、どのように受け継がれてきたかを一人一人が調べた。多くの伝統工芸が大切にされ「金沢の宝」としてのよさに気づき、学んだことを新聞にまとめ交流することができた。また、職人の方をお招きして「金沢貼函」作りを体験する中で、金沢を愛し伝統を受け継ごうとする思いに触れ、さらに伝統工芸への理解を深めることができた。



5年生 いいね！ 郷土の食材 ～加賀野菜の魅力にせまろう～

ふるさとの野菜を調べて「加賀野菜」があることを知り、実際に地域の農家の方と一緒に、ヘタ紫なす、打木赤皮甘栗かぼちゃ、五郎島金時、金時草を育てたり、調理したりする活動を行った。加賀野菜を調べたり、育てたり、味わったりする活動を通して、郷土の自然や野菜のよさを改めて認識し、郷土への関心を高めることができた。加賀野菜の魅力をプレゼンテーションにまとめ、異学年への報告会を開き広めることができた。



6年生 発見！ 金沢の歴史・文化

金沢の歴史や文化を学ぶ活動として、自分たちが訪れてみたい場所をピックアップし、金沢観光ボランティアガイドの「まいどさん」とともに残された歴史的建造物や文化的施設を見学する活動を行った。この体験や「まいどさん」とのふれあいから改めて金沢のよさに気づき、そのよさを伝えるためのパンフレットを作成し交流することができた。また、金沢の伝統工芸である加賀象嵌の体験も行った。これらの活動から、「歴史や文化を大切にしていこう」や「昔から今に受け継がれてきている先人達の技術や思いを」受けついでいくことの大切さを学ぶことができた。



その他、特別活動を通して

(1) 児童会活動（縦割り活動）

- なかよしクリーン（無言：もくもく清掃）
- なかよしウォークラリー（10月）
- 新神田っ子あいさつの日（年間） 心の日（年4回）
- ボランティア活動（7月・・・地域の公園の清掃）
- 絆活動の日（6月、1月・・・小中合同あいさつ運動）
- 地域の方々への「ありがとうの会」（感謝のプレゼント作り）
縦割り活動や様々な人との関わりを通して、互いに思いやる心や協力してよりよい生活を築こうとする心が育まれた。

(2) 福祉教育・環境教育

- ブルタブ、ペットボトルキャップ、ベルマーク、書き損じはがきの収集活動
- 毎朝の放送で、児童による節電・節水を呼びかけるエコキャンペーン活動
環境を守り、再利用できる資源を大切にするとともに、困っている人の役に立つことを学び、自分にできることを考え、行動することができた。

2 成果と課題

【成果】

- (1) 持続発展教育の視点から、「学びのつながり」を意識した問題解決型の授業づくりを行ってきたことで、児童自身が課題を見つけ、考え、調べ、表現するなどの主体的な姿が増えてきた。
- (2) 調査・栽培・製作・探検・奉仕などの協動的な体験活動に取り組むことで、身の回りの友だちや地域の方々とのふれあいやつながりの大切さを実感することができた。また、「ふるさと新神田・金沢」のよさについても再発見することができ、地域を愛する心情を育むことができた。
- (3) 学習の成果を発信する場として、異学年への発表の機会を設けたり、掲示物として全校に広めたりする機会を活用した。自分たちの学びをわかりやすく伝えるための工夫を考えていくことで、学んだことを次に伝える喜びや楽しさを感じることができた。また、学習したことを「金沢ユネスコスクールこどもサミット」で発表し、地域の伝統や環境を守っていこうとする意識にも繋がった。

【課題】

- (1) 今後は、持続発展教育で重視する能力・態度を全教職員で共通理解し、本校の実態に応じた視点を絞り込み、総合的な学習の時間を含めて、さらに授業研究を焦点化していきたい。
- (2) 来年度は、本校の活動をさらに充実させ、地域や他校との連携や協力を進め、広めていくために指導計画の充実をはかる。